

Culture

中国の代表的作家・閻連科さん来日

現代中国の代表的な小説家で、ノーベル文学賞候補に名が挙が
る閻連科さん(58)が今月、初めて中部地方を訪れた。発表した作
品が中国政府から繰り返し発禁処分を受け、反体制的な作風でも
知られる作家だ。5日に名古屋市東区の愛知大で講演し、集まっ
たファンに実像を披露した。(岡村淳司)

検閲慣れは洞察力失う

閻さんは河南省の農村に
生まれた。貧しい暮らしか
ら抜け出そうと、二十歳で
人民解放軍に入隊。文芸部
門に配属され、作家として
頭角を現した。二〇〇三年
に発表した長編『愉快』が
問題視され、軍を離脱。今
は中国人民大で教壇に立ち
ながら、創作活動が続け
ている。一四年には村上春樹

さんに続きアジア二人目の
フランク・カフカ賞を受賞
するなど、世界的に高く評
価されている。

今回の講演は、中国現代
文学研究者懇話会の一環と
して企画。研究者や学生ら
百六十人が聴講した。
閻さんは家族を心配させ
たり古里の村長を怒らせた
りしながらも、書かざるを



講演で創作への思いを語る閻連科さん(名古屋市中東区の愛知大で)

得なくなる心情を説明。中
国の作家は当局の意向を受
け入れ、無意識に自己規制
しがちだと指摘し「作家が
検閲に慣れると、人間や時
代に対する洞察力を失って
しまふ」と警鐘を鳴らした。
また、「卑小だからこそ
作家は創作しようとする」

とも主張。「自分は決して
勇気がある人間ではない」
と告白しつつ、「作品の方
向性を変えるつもりはな
い。暗闇のホタルのよう
に、少しの光を放つことが
できればと思いを語った。
この日は、閻さんの良き
理解者である蘇州大の王堯
教授や、作品の邦訳を手掛
けた名古屋経済大の谷川毅
教授も登壇。反体制の側面
がクローズアップされがち
だが、家族や故郷への思い
やりに満ちた温和な作家で
あることを強調した。

邦訳された閻連科さんの作品

タイトル	発表	邦訳出版	内容など
年月日	1997年	2016年	日照りの村に取り残された老人と犬が、一本のトウモロコシの苗を守る中編。魯迅文学賞受賞
愉快	2003年	2014年	レーニンの遺体を購入し村おこしを図る障害者集落を描いた長編。ガルシ・マルケスの『百年の孤独』の中国版とも称される。反国家的と批判を浴びる
人民に奉仕する	2005年	2006年	軍幹部の若妻と下級兵による禁断の性愛を描いた。毛沢東や軍をおとしめる表現があるとして発禁処分
丁庄の夢—中国エイズ村奇談	2006年	2007年	売血で村中の住民がエイズに感染した農家を題材にした。当局の圧力で一時販売中止に
父を想う—あの中国作家と自分の回想	2009年	2016年	家族や古里への深い思いをつづった随筆。「最も論争の多い作家の少ない作品」と評される

閻連科さんは講演後、本紙のインタビュアーにに応じた。主なやりとりは以下の通り。
—初めてこの地方を訪れた感想は
—昨日恵那(岐阜県)に行ってきた、非常に美しいという印象を受けました。友達に写真を送り「こんな所で死ねたらいいなあ」と伝えました。中国の詩人の陶淵明を思い出しました。あんな所で生活してみたいですが、私の一生においては難しいでしょう。
—体制と衝突する作家といわれる
—今日の講演で、実は私と体制の対立はさほどないと気づきました。一番大きな衝突の原因は、中国の現実が非常にいびつなのに、非常に勢よく発展していること。それを自分がしか

「発展の裏にいびつな現実」

りと捉え切れていないところにあると思います。
—困難にめげず作品を発表する意欲の源は
—自分が病床に伏した時、見舞いに来た人に「私が書くべき事は全て書いた」と言いたい。心残りをなくすことが非常に重要だと考えています。中国が経済発展し、現実や農村から詩情がだんだん失われていると感じるので、作品には詩情を残すよう心掛けています。
—日本と中国の微妙な関係をどう思う
—両国の関係はすぐに良くなることはないと思います。が、皆がはやし立てるようなとても怖い局面が訪れるとも思いません。私は経済や文化の交流が政治の分裂を補う、あるいはそれを是正する力を持っていると信じています。日本人はどう

か中国人の「爆買い」を嫌に思わないでください。中国人がたくさん来て物を買うという行為の裏に、和平への兆しが隠れているのかもしれない。
—毎年ノーベル賞候補に挙げられる感想は
—多くの作家、村上春樹もそうかもしれませんが、今後自分がいかに良い作品を書くかということしか考えていません。賞について特に思うことはありません。
—日本の読者にメッセージを
—日本の読者が私の作品に大変注目してくれていることを、まず感謝したいです。私は中国と日本の文学で、ひとつのアジアの文学をつくり上げられたらと思っています。そういう文学の力で平和を引き寄せたいと感じています。